

第1回「家庭教育応援隊養成講座」

上北地区:6月14日(金) 三沢キッズセンターそらいえ 受講者 9名

下北地区:6月28日(金) むつ市中央公民館 受講者12名

講座は、地域全体で家庭教育を支援する体制を整備するため、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成することを趣旨として行っています。家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に感心のある人、読み聞かせ団体スタッフ、市町村の家庭教育担当者等を対象に、年間で全7回、家庭教育支援についての講義・演習・実践を盛り込んだ講座です。

今年度は上北地区と下北地区の2地区を会場に開催しております。

午前：開講式、オリエンテーション（①講義「本県における家庭教育の現状と課題、そしてその解決に向けて」 ②本事業についての説明）

開講式の後、当課課長より青森県の家庭教育における課題として、子どもに関わる大人が少なくなっていること、また子育てに行き詰まっている親が、それを抱えこんでいること等を紹介し、その解決に向け、本講座を含むあおもり家庭教育支援総合事業を組織的に展開していることの説明をしました。また、本講座の趣旨や内容、年間の予定について、担当職員より説明しました。



午後：講義「社会情勢と家庭教育支援者の役割・心構え」

講師 特定非営利活動法人子育て応援隊ココネットあおもり 代表理事 ぬまた ひさみ 沼田 久美 氏



講義要旨

- 「家庭教育とは、親（保護者）が子どもに伝えたい大切なことそのもの。」
- 「現在、母親に子育ての負担がかかると共に、ネット上の情報過多、また地域における情報不足などから、家庭教育支援が必要とされる。」
- 「家庭教育における課題解決の為には、地域全体で子育て世代をサポートする体制が必要。」

家庭教育とは何か、子育て支援者に必要な事とは何か、私達ができることには何かあるかを御講義いただきました。ワークシートを用い、受講者が主体的に考えながら、意見交流する中で、それぞれの答えを共有するという研修形式でした。初回にふさわしく、今後、家庭教育支援者として地域の子育て支援に携わりたいという方への意欲を更に高め、今後の講座にもより積極的に参加しようという強い動機付けにもなる内容でした。

（受講者の感想）

- ・ 沼田先生のワークで、たくさんの情報交換ができ、いろいろな意見を聞くことができて勉強になりました。今回の経験も、今後に生かしていきたいと思います。支援者としての心構えができとっても良かったです。ありがとうございました。
- ・ 講師のお話についていくことで、自分の考えの再確認ややるべき事を自覚できました。様々な活動で多忙なため、どこまでできるか分かりませんが、全7回できるだけ参加していきたいと思います。
- ・ 社会教育センターさんの活動を知ることができ、本県での現状、今まで知らなかった本県での取組を知ることができて、本当に良かったです。そして、みなさんとの自己紹介で、素敵な方々がいろいろな想いを持って参加されていて、感動しました。これから12月まで、とっても楽しみです。

学ぶ意欲に満ちた受講者の姿が印象的な第1回講座でした。

次回からは、家庭教育支援のためのテキスト「あおもり親楽プログラム」の活用について学んでいきます。